

球磨郡公立多良木病院企業団 広報誌

恒星

KOU SEI

TARAGI municipal hospital public relations



2026年1月発行

新年のご挨拶

球磨郡公立多良木病院企業団企業長

高森 啓史

- 球磨中央高校商業研究発表会
- 防ごう！入浴時のヒートショック
- 今年の健診忘れていませんか？
- 「医療よもやま話 ～最終回～」 内科・総合診療科 稲田 啓介
- 「おなかのおはなし」 消化器科 小島 範大



日本医療機能評価機構
認定病院

新年のご挨拶

球磨郡公立多良木病院企業団
企業長

高森 啓史 Takamori Hiroshi



Profile

【専門医・指導医等】

日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本消化器病学会専門医・指導医・学会評議員
日本肝胆膵外科学会高度技能指導医・評議員
日本胆道学会指導医
日本がん治療認定医機構認定医
日本臨床腫瘍学会暫定指導医
インфекションコントロールドクター (ICD)
アメリカ外科学会フェロー (FACS)
アメリカ臨床腫瘍学会 (ASCO) アクティブメンバー

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
新しい年が、皆様にとりまして素晴らしい1年となりますことを心より祈念申し上げます。

皆様には、是非とも健康で充実した毎日をお過ごし頂きたいと願っています。健康を増進して病気に罹らず、そして健康寿命を延伸するための方策として「予防医療」があります。新千円札紙幣の肖像画となられた北里柴三郎博士は、江戸時代末期の嘉永6年（ペリー黒船来航の年）に熊本県阿蘇郡小国町に生誕、明治4年に熊本医科大学に入学されました。上京後、東京大学医学部在学中に記した演説草稿『医道論』の中に「人民に厚生保健の道を説いて、病を未然に防ぐことが医の本道である」とあり、予防医療が医の本道であることを説かれています。

予防医療は一次・二次・三次予防に分類され、各々への取り組みが大切です。一次予防とは生活習慣や生活環境を改善し整えることで、①バランスのとれた食事②適度の運動③適正体重の維持④禁酒・禁煙⑤衛生的な生活⑥予防接種等が含まれます。生活習慣・環境を正すことで、いわゆる生活習慣病（高血圧症・糖尿病・高コレステロール血症・狭心症・脳梗塞・がん等）の予防や悪化を防ぐことができ、一次予防は予防医療の基本と言えます。二次予防は、病気の早期発見と早期治療です。生活習慣病の多くは、ある程度進行するまで自覚症

状が発現しないため、定期的に健康診断を受けることが早期発見の鍵になります。そして、大切なことは「健診で異常を指摘された場合には、必ず医療機関を受診すること」です。「これ位いいだろう」とか「忙しいから仕方がない」等の理由で精密検査を怠ると病気が進行することがあり、二次予防の効果は半減します。そして、万一、病気が見つかった場合には、早期に治療をはじめると同時に厚生することが肝要です。三次予防とは、病氣罹患後や治療した後に再発予防や社会復帰に向けて機能回復に努めることです。病後にも予防医療は大切な役割を果たします。

高齢者が加齢、病氣やけが等で日常生活がしづらくなつた場合、介護サービスの導入が検討され、その多くは所謂「やってあげる」支援になっています。近年、注目されている概念として『リエイブルメント』があります。リエイブルメントとは「再びできるようになる・再び自立する」ことです。「やってあげる」支援ではなく、高齢者が自ら望む自立した日常生活ができるように、本人が自分の生活を自身で律するセルフマネージメント能力を維持するために「自分でできるようにする・持てる力を引き出す」支援がリエイブルメントです。これはイギリスやデンマーク等の欧州で広く導入されている高齢者支援のひとつで、その有用性や有効性が数多く報告されています。本邦でも複数の自治体が医療専門職と

タッグを組んで、この取り組みを推進しています。リエイブルメントは三次予防にも相通ずるところがあるように思いますが、当圏域でもリエイブルメントを啓蒙し、充実させていく必要があります。

WHO（世界保健機構）は2006年に『ゼロ次予防』の概念を提唱しました。ゼロ次予防とは社会環境を改善することで健康づくりにつなげようという考えです。一人ひとりが社会とつながり、居場所や役割等を有することで孤立を解消していくことです。本邦の健康政策として、「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21…第一次）」が2000年度にスタートしました。第二次が2013～2023年度、そして第三次は2024年度から12年間の予定ではじまり、その中では多方面での健康づくりのための目標・指標・目標値・アクションプラン等が示され、ゼロ次予防の戦略も含まれています。

当院企業団でも、様々な職種が各々の専門領域で予防医療にも取り組んでおり、今後も更に力を入れていきたいと考えています。高市内閣総理大臣は2025年10月24日の所信表明演説において「健康医療安全保障」という新しい概念を示されました。その中で「攻めの予防医療の徹底」が掲げられています。社会保障を支える人口が減少していく中で、健康寿命の延伸を図り、皆が元気に

活躍して、社会保障の担い手となることができるような健康づくりが求められています。当圏域でも、多角的な予防医療やリエイブルメントを推進して、住民の方々の「身体的・精神的・社会的に満たされた幸福な状態」、つまりウェルビーイングの実現に尽力したいと考えています。

当院企業団には、病院のほかに在宅医療センター・訪問看護ステーション・総合健診センター・介護老人保健施設・居宅介護支援事業所・上球磨地域包括支援センター・病児/病後児保育施設が併設されており、予防医療から救急医療、急性期・回復期医療、そして介護・保健・福祉までを包括的に実践できる体制となっています。今年も、医師会の先生方、行政や関連事業所の方々、そして住民の皆様と風通しの良いコミュニケーションをとりながらOne Teamとなり、「治し支える医療」そして「予防医療」に取り組み、地域社会に貢献していく所存です。

今後ともご指導ならびにご支援を賜りましたら、幸甚に存じます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



消化器カンファレンス特別講演会

11月17日 国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科 医長の脇岡範先生を招いた「消化器カンファレンス特別講演会」を当院講堂にて開催しました。

脇岡先生は球磨郡錦町ご出身で自治医科大学を卒業後、当院でもご勤務いただいております。現在は、日本のみならず世界から注目されている医師です。

「膵臓癌の診断と治療の最前線～EUS・ERCPを中心に～」について、公立多良木病院勤務時の思い出を交えながら講話いただき、スタッフのモチベーションアップに繋がる大変貴重な機会となりました。



球磨中央高校商業研究発表会を開催

地域に開かれた病院づくりの一環として、球磨中央高校3年生チャレンジショップ班による商業研究発表を当院講堂にて開催しました。

若者の視点や新しい発想に触れることで、職員の視野拡大や意識向上などに繋げると共に若者に医療機関を身近に感じてもらう機会にしようと思案されました。

チャレンジショップ班の皆さまには、地元の特産品を使ったアイス開発や販売、ひみつ基地ミュージアムでのガイド挑戦など、地域を盛り上げるプロセスや研究の成果などの商業研究について発表いただきました。「地域と共に」を掲げる当院でも、学生のパワーと行動力を見習い、地域医療を今後も継続していただけるよう新しい視点で物事に取り組むなど、日々努力していかなければと再認識させられる大変貴重な機会となりました。



ふくだ
福田 愛海
診療部 医師事務補助

あみ
業務を学び身につけ皆さんのお役に立てるよう頑張ります。
よろしくお願ひ致します。

よしづる
吉鶴 孝子
総合健診センター「コスモ」
事務補助

たかこ
今まで介護士として他施設で従事しており、事務の仕事は久しぶりなので皆様にご迷惑をおかけしない様に頑張りますので、長目でご覧願ひします。

おおぞう
大東 順子
総合健診センター「コスモ」 医長



新規採用者のご紹介

職員募集中

私たちと一緒に働きませんか？



募集要項詳細はQRコードからHPをご覧ください

～球磨郡医師会 健康教室～

地域の一般住民を対象とした、球磨郡医師会主催の「第2回健康教室」が球磨郡医師会館において開催されました。

当院の言語聴覚士と感染管理認定看護師の職員2名が講師を務め、「言葉をはぐくむかわり方」「保育施設における感染症対策」についてお話をさせていただきました。

参加いただきました皆様ありがとうございました。



健康フェスタ 2025 開催しました

11月30日に開催した健康フェスタ2025にはたくさんの方にご来場をいただき誠にありがとうございました！

当院職員企画のブースをはじめ、ステージ部門では多良木中学校吹奏楽部の演奏やキッズファッションショー、屋外では湯前町の創作エイサー団体「慈流」の演舞などで大変盛り上がりました。

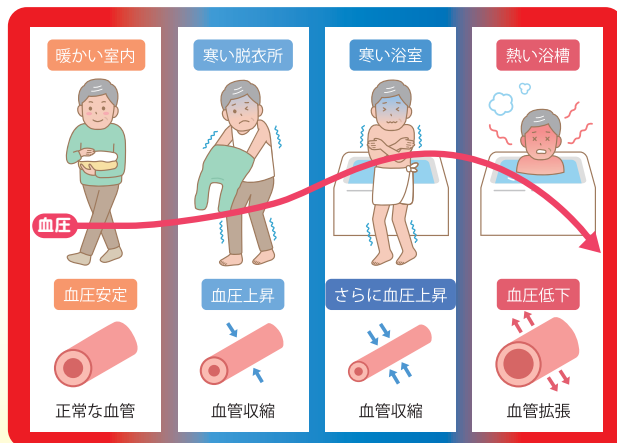
来年も、健康への関心を高めていただくため、また、より公立多良木病院を身近に感じていただけますよう、健康フェスタを企画したいと考えておりますので、是非ご参加ください。



防ごう！入浴時のヒートショック

ヒートショックとは…急な温度変化で血圧が変動し、心臓がダメージを受けること。脳卒中や心筋梗塞の原因になる場合があります。

体に優しいお風呂の入り方



① 浴室と、脱衣所を暖めておく

② 湯温設定は41度以下

③ 入浴する時は一声かける

④ 入浴前に水分を摂る

⑤ かけ湯をしてから入る

⑥ お湯に浸かるのは10分以内

特に注意！
血圧が高めの方は普段からの血圧管理が大事！

お家の中も暖かく！
断熱性の高い窓を設置したり、玄関、トイレ、廊下も暖めるようにしましょう。

医療社会事業課通信

新年おめでとうございます。
年はじめは、医療社会事業課が行っている業務の一部について紹介をさせていただきます。

●医療社会事業課では何をしているの

病気やけがによって生じる生活上の不安や困りごとについて、医療や福祉の立場から一緒に考えさせていただく『相談窓口』と、地域の医療機関や介護施設などと連絡調整を行う『連携窓口』としての役割があります。
「誰に相談すればいいかわからない」、「こんなことで相談していいのかな」
下記にあるような、お困りごとがある際には、ぜひお気軽にご相談ください。

●このようなことでお困りではありませんか

- ・退院後の生活や介護のことが心配
- ・介護保険や福祉制度がよく分からない
- ・家族が入院し、今後の生活について相談したい
- ・家で看取りまで行いたい
- ・医療費や生活費の支払いに不安がある
- ・治療と仕事の両立が難しい

※医療社会事業課のスタッフが話を伺い、適切な支援を行います。

(医療社会事業課には、医療ソーシャルワーカー、看護師、医療対話推進者が在籍しています)



●お困りごとに応じた介護や福祉の制度などを紹介します

- ・高額療養費制度、限度額適用認定証
- ・介護保険要介護認定申請や介護保険サービスの活用
- ・福祉用具の展示及び貸与（短期間）
- ・障害福祉サービス
- ・その他、各種公的支援制度 など

※制度の内容説明や申請方法についてお手伝いします。

●地域との連携

- ・医療機関（病院、医院・クリニック、歯科医院）、薬局
- ・地域包括支援センター
- ・介護保険関連事業所、障害福祉サービス事業所、居宅介護支援事業所、相談支援事業所
- ・行政、福祉機関 など

※地域の皆さまが安心して医療を受け、住み慣れた地域で生活できるよう、地域の関係機関と連携し支援しています。

●ご相談窓口：医療社会事業課

電話：0966-42-2665

受付時間：8時30分～17時15分（土・日・祝日・12/29～1/3を除く）

場所：⑥番窓口（内科外来の奥にあります）

※相談内容の秘密は厳守します。どうぞ、いつでもお気軽にご相談ください。

リレーエッセイ

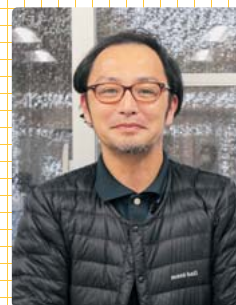
次は上球磨地域包括支援センターの杉山さんにバトンをつなぎます。

最初は正直そこまで興味はなかったのですが、話を聞いていくうちにだんだん興味が湧き、プロの公開対局を生で見る機会がありそれがあまりに面白くて将棋にはまりました。
今では毎日スマホアプリで対局しています。勝率は1割と情けない数字ですが、戦略を練りに練って勝った1勝の喜びは計り知れません。
新たに楽しみを見つけ、人生がちょっと豊かになった気さえしています。
何事にも興味を持って、やってみる、試さずに自分で評価を決めず、まずは試してみることが大事だと思いました。

仕事にも通じることもあり、今後もしろんなことに興味を持って試し、経験し、仕事も私生活も充実していけたらと思います。

居宅介護支援事業所の森山です。公立居宅はシルバーエイトの事務所内にあり、いつも楽しく仕事させてもらっています。
今回どんなことを書くのか悩みに悩んで決めたテーマが「将棋」です。妻が将棋の藤井聡太竜王・名人の大ファンであり、いつも将棋の魅力を聞いていました。
最初は正直そこまで興味はなかったのですが、話を聞いていくうちにだんだん興味が湧き、プロの公開対局を生で見る機会がありそれがあまりに面白くて将棋にはまりました。

居宅介護支援事業所
ケアマネージャー
もりやま きみのり
森山 公則



今年度の健診忘れていませんか？

期間限定健康診断のご案内

総合健診センター「コスモ」では、複数の検査の中からご希望の検査を組み合わせ受診できる**期間限定健康診断**を、下記日程で実施します。この時期だけの**特別割引料金**となっております！今年度まだ受診されていない方はぜひこの機会にいかがでしょうか！検査項目や料金などの詳細についてはコスモまでお気軽にお問い合わせください。なお、詳細内容は各自治体の回覧板でも配布予定です。
※健診料金は全額自己負担となります



★申込期間 令和8年1月13日(火)～令和8年2月27日(金) ※土日祝を除く
【予約受付時間】 平日 8:30～17:00
【お問合せ・お申し込み先】 0966-42-2410

★実施期間 令和8年1月16日(金)～令和8年3月6日(金) ※土日祝を除く
午前7:00～午前11:00頃 (検査内容により異なります)
完全予約制

※下記の場合はお申し込みをご遠慮ください！

- ・医療機関にて現在治療中・経過観察中の疾患に関する検査項目
- ・今年度の健診で紹介状が出ている検査項目



介護老人保健施設 シルバーエイト

健康フェスタinシルバーエイト

11月30日、公立多良木病院企業団健康フェスタが開催されました。

シルバーエイトでは、射的、スーパーボールすくい、ヨーヨー水風船釣り、とろみ食体験、体力測定など色々な催し物を展示しました。入所者の皆さんにも参加して頂き、大変楽しまれていました。また、地域の方々にも来場して頂き会場も大いに賑わいました。



「医療よもやまばなし」最終回

10年間 ありがとうございました。



内科・総合診療科 稲田 啓介

長きにわたりお付き合い頂きましたこの連載も、今回が最終回となります。私事ではございますが、この12月をもって約10年間勤務させて頂いた球磨郡公立多良木病院を退職することになりました。退職にあたり、この場を借りて皆様にご挨拶させていただきます。

振り返ると、この多良木での10年間は本当にあっという間でした。私は熊本市、天草、阿蘇など熊本県内各地の病院で総合診療医として勤務した後、35歳で当院に赴任しました。当時は、深刻な内科医師不足により救急車や急患の受け入れも一部制限をせざるを得ないなど、運営が困難な時期でした。医師としてようやく一人前といわれる時期を迎えていた私は、出身大学である自治医科大学の建学の精神である「医療の谷間に灯をともし」という使命をこの場所で果たしたいと思っていました。

この多良木で地域の「かかりつけ医」として皆様の健康を支える一翼を担うことができたことは、医師冥利に尽きる経験でした。地域の皆様の温かさ、特に診療中にいただいた励ましの言葉一つひとつが、私のエネルギーとなりました。本当にありがとうございました。

医師としてだけでなく、組織人としても貴重な経験をさせて頂きました。特に、副院長や感染制御部長など重要な役職を任せていただき、病院経営や運営のやり甲斐や難しさを学ぶことができました。タウンミーティングと称して病院と地域住民の皆様との相互理解を深める取組を行ったことも良い思い出です。中でも忘れられないのは「コロナ禍」です。あの頃は本当に大変でした。

感染制御の担当者として、来る日も来る日も診療と院内感染対策、情報のアップデートに追われる忙しい毎日でしたが、職員の皆さんが力を合わせ「地域の命を守るんだ」という強い気持ちで戦い抜くという得難い経験をしました。あの時の職員の頑張り、そして地域の皆様が私たち医療従事者を信じて協力してくださったことに、心から感謝しています。私ひとりの力は小さく、名ばかりのリーダーで申し訳ない思いましたが、本当に貴重な経験をさせて頂きました。

現在の日本の医療は、再び大きな試練を迎えています。超高齢化による医療需要の増加、少子化による労働人口の減少、そして物価や人件費高騰が直撃し、公定価格である診療報酬ではコストを吸収しきれず、多くの病院が経営難に苦しんでいます。

ます。特に人手不足問題は地方の中小病院でその傾向が顕著で、当院も例外ではなく、今後より厳しさを増す可能性が高いと思われます。

人口減少が進む地域で質の高い医療を持続的に提供していくために、病院は時代に沿って様々な変化をしていくでしょう。医療は皆さんの生活に大切なインフラですから、「地域で必要な医療をどう残すか」という視点で、未来に向けた議論が必要となります。貴重な灯火を未来へ繋ぐためには、私たち医療従事者や行政だけでなく、地域の皆様の理解や協力が不可欠です。どうぞ今後とも温かい御支援をお願い致します。

これからの医療では、高齢化が進む中ますます「総合力」が問われます。内科総合診療科で培ってきた「どんな病気も、どんな患者さんも、まずはしっかり受け止める」という、地域に寄り添う医療の精神こそ、未来の地域医療を支える土台となります。私は病院を離れますが、多良木病院がこれからもこの地域の「命の砦」として、強くあり続けることを心から願っています。10年間、本当にお世話になりました。私の多良木での経験は、これからの医師人生の大きな財産です。皆様の健康と幸せを心からお祈り申し上げます。どうかお元気で！



健診結果の見方 教えます！

～血液検査編～



消化器科
小島 範大

病院を受診した場合には血液検査の再検査や腹部超音波検査で精査をすることになります。最近ではEBV-IgGexという項目も注目されており、年齢・AST・ALT・血小板数の4つの数値を計算することで求められ、肝臓の繊維化（硬くなる変化）の進み具合を調べることができます。繊維化が進むほど、将来肝硬変や肝臓がんのリスクが高まっていきます。

・腫瘍マーカー

よく人間ドックなどでは追加オプションとして選択されることが多いと思います。数値が高ければ、がんの可能性がある、というのは確かに間違いないのですが、これはあくまで診断のための「補助的」なものであります。数値が高ければ必ずがんがあるわけではないですし、低ければ絶対にがんがないということにはなりません。病院では、腫瘍マーカーは主に治療の効果があったかどうか、治療後の再発がないかどうかを評価するために使うことが多いです。がんを早期で発見するためには腫瘍マーカーのみではなく、画像検査も行う必要があります。

・貧血

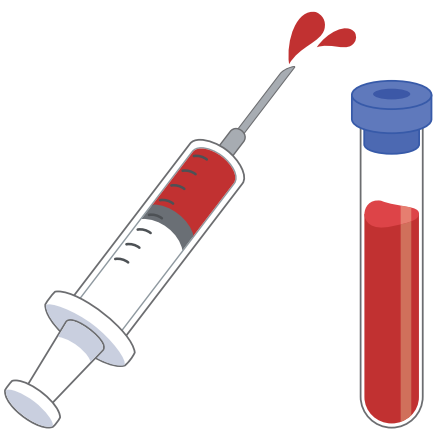
一般的にはHb（ヘモグロビン）の数値で貧血があるかどうかを判断します。貧血の原因はここに書き切れないくらいたくさんあります。病院への紹介状が出た場合、病院では原因を調べるための追加の血液検査が行われると思いますが、過去

1年以内に胃カメラや大腸カメラを受けていない場合には一度検査を受けるのをすすめします。消化器系のがんがある場合にも貧血を来すことがあります。

・そのほか

脂質や血糖なども実は肝臓と関係があります。肝機能が悪くなる原因として、よくお酒の飲み過ぎがイメージされますが、脂質異常症や糖尿病などの、いわゆる生活習慣病とよばれるものが原因で肝機能が悪化することも多いです。脂質異常症や糖尿病の治療を行うことで肝機能の数値も改善していく可能性があります。

血液検査の項目を見ると、どれも英語ばかりで一体何を意味する項目なのか分からないものも多々あります。そんなときにはかかりつけの先生に相談してみましょう。



さて今回は健診結果の見方シリーズ第4弾！血液検査についてみていきます。血液検査の項目はたくさんありますが、今回は消化器に関わる項目を中心に伝えたいです。血液検査はみなさん一番なじみのある検査かと思いますが、結果はシンプルに数字で表示され、その数字が高いか低いかで異常であるかどうか分かるため、とてもわかりやすいと思います。それでは、項目ごとに見ていきましょう！

・肝機能

AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GTP、ALP、ビリルビンなどの項目があります。通常、数値が高いと異常となり、病院での精査が勧められます。肝臓そのものがダメージを受けている場合や、肝臓で作られる胆汁という消化酵素の流れが悪い場合などにこれらの数値が上昇します。



基本理念

ひとと社会を診る医療・福祉を実践して、地域社会に貢献します

基本方針

- 1.質の高い医療**
寄り添う心を持ち、最新の知見を学び、技術の向上に努めます
- 2.救急医療**
24時間体制で、迅速に対応します
- 3.地域共生**
地域医療機関・施設・行政・社会と連携して、安心して暮らすことができる地域社会を実現します
- 4.予防医療**
健康長寿を支えます
- 5.Well-Beingを実感できる職場**
多様性を寛容し、やりがいと誇りを持つことができる企業文化を醸成します

患者さんの権利

- 1.安全で質の高い医療を受ける権利**
患者さんは、その社会的立場や病気の種類にかかわらず、安全で良質な医療を平等かつ公平に受ける権利があります。
- 2.医療を選択する権利**
患者さんは、ご自身の医療に関して情報を知る権利があります。病状や治療内容について説明を受けて、理解した上で検査や治療などを選択する権利や拒否する権利があります。
- 3.個人情報やプライバシーが保護される権利**
患者さんは個人情報やプライバシーについて保護される権利があります。

患者さんの責務

- 1.正確な情報の提供**
患者さんは最適な医療を受けるために、自らの疾患、健康や社会背景などに関する情報を提供する責務があります。
- 2.診療内容の理解と医療への協力**
患者さんは、自らの診療内容を理解するように努め、医療に協力する責務があります。
- 3.社会的なルールの尊重と医療環境づくりへの配慮**
患者さんは社会的ルールを尊重し、病院の規則を守り、他の患者さんの治療や療養に配慮する責務があります。



**球磨郡公立
多良木病院企業団**
TEL0966-42-2560

- 総合健診センター「コスモ」
TEL0966-42-2410
- 介護老人保健施設「シルバーエイト」
TEL0966-42-5288
- 上球磨地域包括支援センター
TEL0966-42-6006
- 居宅介護支援事業所
TEL0966-42-2560(内線810)
- 在宅医療センター
訪問看護ステーション「たいよう」
TEL0966-42-3301
- 病児・病後児保育施設「ホッと館」
TEL0966-42-2828
- 球磨地域在宅医療サポートセンター
TEL0966-42-2665

診療科受付時間

(2025年12月現在)

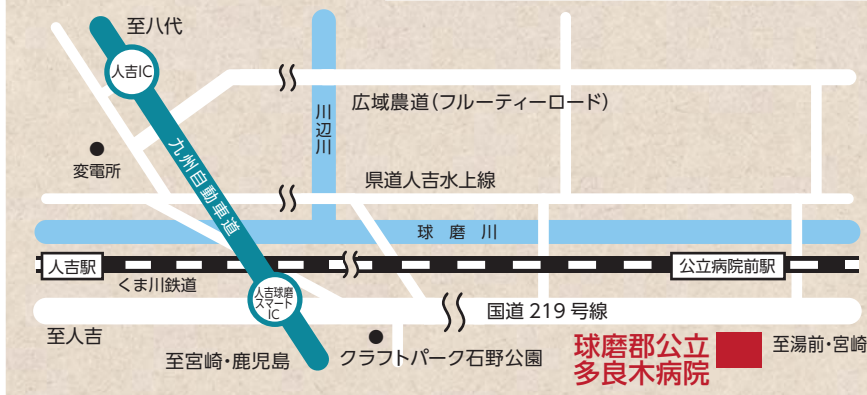
[午前/8:30~11:00] ※再診のご予約・変更などは午後1時30分から午後3時に受付いたします。

診療科	医師	月	火	水	木	金	土
内科・総合診療科	常勤	○	○	○	○	○	—
循環器科	非常勤	○	—	○	○	○	—
呼吸器科	非常勤	○	○	—	○	—	—
消化器科	常勤	○	○ (急患のみ)	○	○ (急患のみ)	○ 第2金休診	—
肝臓病外来	非常勤	—	—	—	—	第1	第3
外科	常勤	○	○	○	○	○(緩和)	—
整形外科	常勤	○	○	○	○	○	—
脳神経外科	非常勤	—	—	—	○ 9:30~	—	—
産婦人科	常勤	—	○	○	○	—	—
小児科 0966-42-2596	常勤	○	○	○ (非常勤)	○	○	—
泌尿器科	常勤	○ (非常勤)	○	○	—	○	—
腎臓内科 ※完全予約制	非常勤	—	—	—	—	○	—
眼科	常勤	○	○	○	○	○	—
皮膚科	非常勤	○	—	—	○	—	—
歯科 0966-42-2323	常勤	○	○	○	○	○	—
訪問診療科	常勤			○			—

- *肝臓病外来は完全予約制です。〈予約：消化器科外来(内線105) 13:30~15:00〉
- *腎臓内科は完全予約制です。〈問合せ：内科外来(内線108) 13:30~15:00〉
受付時間は第2、第4金曜日の13:30~15:00です。
- *歯科・小児科は午後も受け付けます。
- *急患は上記受付時間外でも受け付けております。
詳細は、来院前にお問い合わせください。

交通アクセス

車：人吉インターより22km(約35分)
人吉球磨スマートインターより17km(約26分)
バス：九州産交バスを利用(公立病院前下車)



編集後記

あけましておめでとうございます。2026年が地域の皆様にとって健やかな一年となるようお祈り申し上げます。三が日はかなり冷え込み、真冬の寒さとなりました。私は親戚や友人と穏やかな時間を過ごしました。また今年も『恒星』を通じて皆様の健康に寄り添うことができましたら幸いです。今後とも当誌『恒星』を皆様のお手元に届けることができるよう、委員一同愛着を持ち、作り上げていきますので、毎号楽しみにお待ちください。